

**蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る状況（概要）と
次期総合戦略策定について（総括資料）**

1 蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る状況

（1）本市における人口減少・少子高齢化の状況

- 人口の動向 増 72,474 人（H27.4）→75,254 人（H31.4） 3.8%増
（社会増による。本市の課題である子どもや子育て世代の流出傾向は弱まっている）
（一方で外国人の割合が増加し、課題として多文化共生）
- 子どもの数 増 7,881 人（H27.4）→8,101 人（H31.4） 2.8%増
（ただし、後半は子どもの出生数が鈍化の傾向）
- 年齢 3 区分別人口の割合 構成に大きな違いはなく、高齢化は鈍化傾向
（ただし、後期高齢者の割合は 10.6%→11.8%）

（2）上記の要因の考察

- 東京圏への人口集中の傾向の継続
東京 23 区推計人口 9,190,491 人（H27.4）→9,597,128 人（H31.4） 4.4%増
埼玉県推計人口 7,242,442 人（H27.4）→7,326,981 人（H31.4） 1.2%増
（近年の人口増加率は東京 23 区と同程度であり、県内市町村で 6 番目である。）
（東京都に隣接し、通勤・通学に便利なことから、地域外からの転入者が多い県南部の地域特性や、近年のマンション建設等の住宅動向が影響していると考えられる）
- 本市のまちづくりへの取り組み
（前回会議資料参照）

（3）総合戦略の達成状況

- 数値目標の達成状況 項目数 9 のうち達成数 2（達成率：22.2%）
- KPI の達成状況 項目数 20 のうち達成数 10（達成率：50.0%）
- 具体的事業の実施状況 項目数 52 のうち実施数 49（実施率：94.2%）
（計画期間を 1 年分残しているが、数値目標・KPI の達成率は低くなっている。ただし、計画期間に当初の値より上昇している項目、市民意識調査など変動要素が大きい項目が含まれている。また、具体的事業は遂行されている項目がほとんどである。）

※人口推計（参考）

	H22 (2010)年	H27 (2015)年	R2 (2020)年	R7 (2025)年	R12 (2030)年	R17 (2035)年	R22 (2040)年
社人研推計(H25.3)	71,502	71,605	69,375	66,658	63,646	60,409	56,993
人口ビジョン推計(H27.10)	71,502	72,041	72,274	72,332	72,373	72,186	71,821
社人研推計(H30.3)		72,260	72,680	72,845	72,780	72,441	71,854

2 今回の改定のポイント（案）

（1）改定の視点～蕨市総合戦略の位置づけから

「蕨市総合戦略」は、市の最上位計画である「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンを基本とし、「国の総合戦略」及び「まち・ひと・しごと創生基本方針 2015」の基本的な考え方に合致した方向性や施策の柱を抽出し、具体的施策などを加えて策定するものです。（蕨市総合戦略3ページ）



○「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン後期実現計画への対応

（社会経済情勢の変化、前期実現計画におけるまちづくりの進展に対応）

（施策の体系は、後期実現計画の重点プロジェクトがベースとなる）

○国の第2期総合戦略における方向性、新たな視点を考慮

（4つの基本目標は変わらないが、第2期における新たな視点あり。別紙参照）

（2）改定総合戦略の基本的な考え方～基本的な課題の設定

現総合戦略

- ①子どもを産み育てやすい環境づくり
- ②子ども・子育て世代の定住を促す環境づくり



改定総合戦略

- ①子育てしたいと思える環境づくり
- ②将来にわたり住み心地が良く活力のあるまちづくり

（本市の現況、まちづくりの課題、国の総合戦略の方向性も踏まえて再設定）